

令和8年度 岡谷市立長地小学校グランドデザイン

長地小学校の 伝統的な合言葉

- ・けんこうで
- ・あいさつ
- ・おしごと
- ・おべんきょう

協働組織

- ・PTA
- ・学校評議員会
- ・長地CS
- ・学校支援ボランティア
- ・長地会

【教育理念】 「対話する学校」

社会に開かれた教育課程

【めざす子ども像】

「自分を好きと言える長地の子」

めざす教職員像「教える教師から学ばせる教師へ」

めざす学校像「授業づくりを根幹とする学校」

岡谷市教育大綱より

自立し、共生し、創造性溢れる「岡谷のひと」づくり

【岡谷市のめざす教育】

子どもたちの人生の礎となる確かな学びと成長を実現し、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜く力と創造性溢れる豊かな感性、人間性を育む

学習指導要領より

主体的・対話的で深い学び

【経営概要】

学校づくりのねらい

「対話する学校」を合言葉にする学校づくりと、問いをもって物事の本質を探究する対話的な授業実践を通して「協働する力」を高め、「自分を好きと言える長地の子」を育成する。

※「協働する力」とは、「【聴く】【問う】を基盤とする対話を通して、複数人で知恵を出し合い、問題を解決する力」

【学校教育目標】

問いをもって学び合う長地の子

【教育課題】

「聴く」「問う」を大切にした対話的（協働的）な授業づくり

- ・手づくり単元の充実（生活科・総合的な学習の時間の充実）
- ・ユニバーサルデザインの充実（特別支援教育の重視）
- ・「岡谷スタンダードカリキュラム」の活用
- ・ウェルビーイング実践校 TOCO-TON・とことん追求したくなる授業・環境づくり

正解のない課題から最適解を創造し、表現し、共有する、これからの社会に生きる子どもたちには、他者と協働しながら複雑な現象に対し情報収集・分析・判断をし、実行した結果を社会に問うていく能力が必要となる。（スタンダードカリキュラムp.2より）

令和8年度 全校研究テーマ

「自分が好きと言える長地の子」の育成（自己有用感を高めていくために）

研究推進3つのチャレンジ

- 1 部会研究の推進（チームでの対話的・協働的な授業研究、主事等外部指導者訪問によるスキルアップ）
- 2 小グループ（4～5人）研究の推進（お互いの授業を定期的に見合っ、授業力アップ）
- 3 教職員個々のスキルアップ研究の推進（学期ごと自己課題の成果と課題を確認して日々の授業の改善）



- 読書活動の充実
- ICTによる協働の学び

岡谷東部中学校 学校教育目標

「未来を拓く」

自立・創造・尊重